

学 校 紹 介

椎葉村立椎葉中学校 有田勝則

1 はじめに

椎葉村は、宮崎県の北西部、九州山地の中央に位置し、広大な総面積の96%が山林を占める自然豊かな中山間の村である。「日本三大秘境」の一つとしても知られており、先祖代々から神楽や民謡が脈々と受け継がれ、伝統文化の発祥の地と呼ばれている。また、平家伝説が残る本村は、平家の鶴富姫と源氏的那須大八郎宗久の恋物語の舞台となり、これを偲び、毎年11月に「平家まつり」が開催され、たくさんの観光客で賑わっている。村内唯一の中学校である本校は、村の中心部に位置し、校区が広いため開校当時から寄宿舎があり、現在は全校生徒55名中36名が寮生活を行っている。

2 本校の特色ある取組

(1) 「総合的な学習の時間」における取組

「ふるさと椎葉を愛し、生涯にわたって椎葉と関わりをもつ生徒の育成～椎葉の自然や産業、人、未来を学ぶ学習をとおして～」という大きなテーマのもと、学年ごとのテーマに沿って学習を進めている。

1年生は「椎葉村の誇りを学ぶ～椎葉村の自然や産業に学ぶ～」というテーマのもと、村内の職場訪問やフィールドワークをとおして自然や産業について学び、それをパンフレットにまとめ、修学旅行のPR活動に繋げている。2年生は「椎葉村の人に学ぶ～椎葉村で活躍する人に学ぶ～」というテーマのもと、村内で働く人の生き方をライフヒストリーという形で学び、その学びを職場体験活動や立志式での発表に繋げている。3年生は「椎葉村のために学ぶ～椎葉村の未来について発信する～」というテーマのもと、SDGsの視点から椎葉村の課題について学び、椎葉村の未来について考える会議などに参加しながら自分の考え方をまとめ、将来の椎葉村と自分の関わり方について発信していく学習に繋げている。

学習には、3名のキャリア教育サポーターの方々や村内の数多くの事業所及びそこで働く人々の協力を得ることができている。椎葉村の子ども達を、村全体で育てていこうという温かい雰囲気の中、生徒は伸び伸びと「ふるさとを愛する心」を育てている。

(2) PTA文集「かすがい」の発行

本校はPTAの活動の一環としてPTA文集「かすがい」を発行している。1学期は1年生、2学期は2年生、3学期は3年生と年に3回発行し、令和3年度までに136号を発行しており、約45年続いている伝統的な活動である。この文集は、生徒の作文に加え、保護者も「我が子に願うこと」や「旅立ちの時」などのタイトルをつけて、我が子への思いを綴る親子文集である。特に、卒業と同時に村外の高校へ進学する3年生の保護者の我が子への愛情溢れる文章は感動的であり、読むと温かい気持ちになる。今後も伝統あるこのPTA文集を発行し続けていきたいと考えている。

3 おわりに

本校の合い言葉は「チャレンジの椎葉中！」である。新型コロナウイルスの影響により、地域の行事や活動が制限されるなか、与えられた環境の中でベストを尽くし、今後も様々なことにチャレンジを続けさせていきたい。

